

設立趣旨書

1 趣旨

近年、学校部活動に関わる諸問題が取り上げられています。教員の超過勤務、学校教育における指導者不足や指導力不足、部活動に参加する児童生徒の自主性、主体性の希薄さなど部活動を取り巻く様々な問題が発生しています。そのような環境下、社会において児童・生徒の主体的な活動を支えるために地域人材の活用や指導員の配置が求められています。同時に、社会において自由時間の増大、少子高齢化、生活水準の向上、ワークライフバランスの観点などから、スポーツ活動や文化活動の重要性が高まるとともに、人々がスポーツ・文化活動に求めるニーズの多様性が生まれています。

これらの諸問題とニーズに対応すべく、活動者と専門指導者とのマッチング、青少年の健全育成、学業との文武両道を目指した競技スポーツ選手の育成、高齢者の生きがい作り等を目的とし、世代を超えたスポーツ・文化活動を通じたコミュニティを創造し、運用していきたいと考えております。この活動を通して地域や学校、企業、行政と連携し、多項目・多世代の個別のニーズに合わせたスポーツ・文化活動の実現を目指し、スポーツ・文化の振興に寄与していきます。

以上のような趣旨で活動するにあたり、地域や学校、企業や行政と関係していく事業の遂行上、法的人格を持ち、自立して社会的信用を持ちながら活動を行うとともに、当団体の活動が営利目的ではなく、多くの市民の方々に参画していただくことが不可欠であるという点から特定非営利活動法人が最適と考え、設立に至りました。

法人化することによって組織を発展、確立することができ、将来的に部活動に関わる諸問題を解決するとともに、すべての世代で充実したスポーツ・文化活動を行う環境整備に寄与できると考えております。

2 申請に至るまでの経過

令和元年 9月 設立発起人会の開催
令和元年 11月 地域スポーツクラブに対して活動協力依頼
令和元年 12月 設立総会の開催

令和元年 12月 7日

特定非営利活動法人クラブアクティビティサポート
設立代表者
佐々木 大樹